



平成 26 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社サガミチェーン  
代表者名 代表取締役社長 鎌田 敏行  
(コード番号：9900 東証・名証第一部)  
問合せ先 代表取締役副社長 伊藤 修二  
TEL. 052-771-2126

## 中期経営計画策定のお知らせ

この度、当社グループでは直近の業績を踏まえ、2年間を対象とした中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1.中期経営計画策定の背景

当社グループは、平成 26 年 1 月に味の民芸フードサービス株式会社（以下「味の民芸」）の株式を取得し、グループ化いたしました。味の民芸は社歴も長く、また関東地域を中心に知名度もあり、中部地域を中心に展開している当社とグループ化することで、地域的な補完と食材の共有によるシナジーが期待できると考えております。

国内では、今後も人口の増加が予測される関東地域、海外では著しい経済発展をしており『和食』の人氣が非常に高い ASEAN 地域を、中部地域同様に最重要地域と位置付け注力してまいります。

これからの時代の変化と顧客ニーズをとらえ、次代の成長を確固たるものとすべく中期経営計画を策定いたしました。

### 2.基本方針

#### ① ビジョン “No.1 Noodle Restaurant Company” の共有

麺類を中心とした和食店として今まで以上に差別化を図り、個々の店舗が競合店と競争できる地域一番店を目指します。将来的には、海外店舗数が国内を上回ることを想定し、海外を視野に入れた従業員の育成に注力いたします。

#### ② 改革の継続（意識改革・制度改革・組織改革）

#### ③ 営業利益率重視の経営

#### ④ グループ経営の強化

子会社と事務部門および工場部門の統合を図ります。

子会社にてメンテナンス業務や清掃を実施しコストの社外流出を減らします。

### 3.数値目標

#### 【連結】

(単位：百万円)

	平成 26 年 3 月期実績	平成 27 年 3 月期計画	平成 28 年 3 月期計画
売上高	19,521	24,700	26,300
営業利益	529	580	730
経常利益	575	625	780
当期純利益	595	385	510

#### 【個別】

(単位：百万円)

	平成 26 年 3 月期実績	平成 27 年 3 月期計画	平成 28 年 3 月期計画
売上高	16,058	16,500	16,900
営業利益	514	550	640
経常利益	553	585	670
当期純利益	506	375	420

### 4.成長戦略

#### ①既存店の収益力向上

店舗意識向上のため、社内オーナー制度を更に拡大し収益力向上に取り組みます。

全社的改善提案制度を導入し、更にスピードを上げて改善改革に取り組みます。

#### ②低採算・不採算店舗の積極的な業態転換

主力業態である和食麺処サガミは、平成 25 年 3 月期に全店店舗段階で黒字化したしましたが、味の民芸および他業態の一部店舗では、店舗段階で赤字の店舗もございます。全店店舗段階での黒字化を早期に実現するために、業態転換・閉店を積極的に進めて参ります。

#### ③積極的な出店

国内では首都圏、海外では ASEAN 諸国への出店を積極的に行います。

#### ④時代のニーズに対応したメニュー・商品政策

産学連携によるメニュー・商品の開発を強化いたします。

自社ブランド商品の開発と販売を更に進めて参ります。

テイクアウト・デリバリーの拡大を行って参ります。

#### ⑤子会社とのシナジー

味の民芸につきましては、早期に黒字化を達成すべく、本部・工場部門の統合、グループ間シナジーの推進など、スピードをもって行って参ります。また、商流・物流の統合、グループ間での業態転換も進めて参ります。

### 5.設備投資

平成 27 年 3 月期は、23 店舗の業態転換を含む出店（新規出店：国内 7 店舗、海外 7 店舗）および既存店の改装費用などを含め、総額 1,200 百万円を計画しております。

平成 28 年 3 月期は、34 店舗の業態転換を含む出店（新規出店：国内 7 店舗、海外 10 店舗）および既存店の改装費用などを含め、総額 1,300 百万円を計画しております。

## 6.配当政策

当社では、今後とも激変する市場環境に対応しつつ、長期にわたり安定的な経営基盤の構築に努めると共に、株主の皆様へ安定した還元を目指して参ります。

以上